

まちのおすすめ風景

各協議会の方たちに、ガイドなどには載っていないまちが誇るおすすめ絶景スポットを聞いてきました。

わにまちづくり協議会おすすめ

和邇中浜周辺の湖岸沿い

北には比良の山並み、ふりかえれば琵琶湖を一望。一度に2つの絶景を楽しめるおすすめスポットです。



滋賀まちづくり協議会おすすめ

宇佐山城跡近辺から見る琵琶湖

約1時間の山登りの後のご褒美。高いところから見る琵琶湖の眺めは格別です。



富士見まちづくり協議会おすすめ

茶臼山公園から見る近江富士

学区の名前の由来にもなった近江富士がとても美しく見えます。



入居団体募集

大津市市民活動センター内 スモールオフィス

2.1(木) ~ 2.23(金) 19時まで

詳しくはこちらから

市民活動団体への貸事務所「スモールオフィス」に入居者を募集します。事務所内のブース以外にロッカーやメールボックスが備え付けられており、センター内にはコピー機やリソグラフもあるので印刷物が格安で作成いただけます。



見学大歓迎！

利用料：月額 5,600 円
インターネット使用料別途 240 円

アクセス：京阪浜大津駅すぐ
利用時間：朝 9 時～21 時まで
机 1 台、ロッカー、メールボックス、Wi-Fi 等

みんなで楽しく！！ ベビーリトミック

会場：明日都浜大津 1 階
対象：生後 3 ヶ月から就園前頃まで
参加費：1 回 500 円
問合せ：070-5266-2890
講師：七蔵司きよみ
(保育士・リトミック講師)

大津リトミックグループ
保育士・音楽教室講師によるメンバー構成で毎月、明日都浜大津で開催しています。

編集後記

編集担当のYです。まずは令和6年能登半島地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。昨年まちづくり協議会をとりあげてから1年。改めて地域の繋がりが見直されつつある中、自分は地域のために何かできているかなあ…と胸に手を当てながら2024年の幕開けです。ご挨拶が遅くなりましたが本年もセンター共々宜しく願いいたします。

発行 大津市市民活動センター

大津市浜大津 4-1-1 (明日都浜大津 1 階)
☎077-527-8661 ✉moveinfo@movementotsu.com



Vol. 31

2024.February WINTER

大津市市民活動センター

まち

あふれる

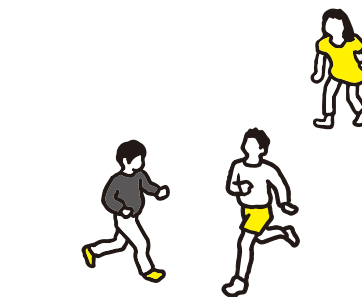
まち



ひと



ゆめ



昨年につき今年も「まちづくり協議会」特集なのですが、「まちづくり協議会？」という方も多いのではないのでしょうか？

地域での暮らしを想像すると「色々な人や団体がまちのために頑張ってるなあ」と思い当たったり、相次ぐ災害で地域住民のつながりの大切さが見直される一方、担い手不足など様々な課題を地域は抱えています。

そんな「まちの課題」のため、別々に活動してきた団体や人が集結したのが「まちづくり協議会」！今年もまちのために頑張る素敵な人達をご紹介します！

Take Free

和 邇

四季と歴史を感じるまち、和邇

表情豊かな琵琶湖と比良山系の間に位置する和邇。「移住してきた方達からは『琵琶湖の眺めが美しい』『アウトドアへのアクセスが良い』などの嬉しいお言葉をいただいています。」と和邇まちづくり協議会の後村さん。

小野妹子の故郷で、歴史の町であることにちなみ毎年11月には「妹子祭り」を開催しています。

そんな和邇ですが、人口減少と世帯あたりの人数の減少の同時進行で、「地域のつながりの減少」や「地域交通の充実対策」「空き家対策」などが課題となっています。



歴史装束の行列や、地域住民たちの出し物、出店など大いに盛り上がりを見せる1日。

つながり、走る、コミバス

坂道が多く、高齢者の多い和邇では公共交通機関が欠かせませんが、江若バスの大幅減便により、地域の移動手段は大きな危機を迎えました。そこで協議会が出した解決策は、住民による「コミバス」（コミュニティバス）運行です。

コミバスはボランティアのドライバーと、お年寄りの乗り降りサポートの助手の計27名で運用しています。

ルート設定やLINEでの運行情報の配信など利便性にも配慮しました。おかげさまで毎日50名あまりの利用があり、2.5年で累計利用者数は2万2千人を突破しました。

コミバスは利用者同士やボランティアが顔を合わせる、つながりの場としても機能しています。運行担当者からは「利用者との交流やありがとうの一言が力になっている」との答えが返ってきました。



学区をすみずみまで巡るルートでとっても便利！



運休はLINEでお知らせ！とっても便利

空き家になってしまいう前に

世帯数減少による空き家の増加は、ご近所の不安など様々な問題が懸念されます。「空き家になる前に何かできることはないか？」と考え、昨年12月から新しい取り組みとして「住まいのお悩み相談会」を開催することとなりました。相談内容を踏まえながら、地域活動として有効な対策が実施できないか。貴重な不動産である「空き家等」を有効活用させて行くことが、一つの住みやすいまちづくり対策と考えていらっしゃるそうです。



まちづくり協議会の役割として、何が出来るかを考えた中で今出来ることを実施して行きます！

今までもこれからも住みやすい和邇

「これからも住みやすいまち」というフレーズを取材や資料でお伺いしましたが、未来の為に積極的に取り組む姿勢からは、協議会のみなさんの「和邇での暮らし」を守りたいという強い意志を感じました。

後村さん「協議会の組織メンバーは少数ですが、地域の自治会会員の方々の協力を得て、まちづくりの課題に取り組む体制であれば、時間が掛かるかも知れませんが、解決策は見えてくると思います。」



わにまちづくり協議会
〒520-0528
滋賀県大津市和邇高城12
TEL:077-594-8022



滋 賀

転入した人も自然と馴染むまち

滋賀学区は、司馬遼太郎が「湖西のみち」と紹介したように、西の山手には多くの遺跡が残り、その一方で湖側はマンションなどが立ち並び、古いものと新しいものが混在する地域です。「転入された方も自然と馴染んでいられるんですよ」と滋賀学区まちづくり協議会の西田さんにはっこり。



戦国時代の城跡から今の滋賀学区の街並みと変わらぬ琵琶湖を眺めると時の流れの雄大さを感じますね。



まちと世代をタテヨコにつないで



滋賀学区の一代イベント「ふれあい文化祭」の運営はまさに四者協働！



同協議会では、競技かるたの聖地にちなんだ「くずし字教室」や年行事の「学区夏祭り」など多くのイベントを運営されています。中でも「滋賀学区ふれあい文化祭」は、滋賀コミュニティセンター、そして湖側にできた商業施設「ランチ大津京」の2会場同日開催されています。特にランチ大津京ではステージ、マルシェ、江州音頭など盛りだくさんなプログラムとなっています。「同日開催のイベントを2人のスタッフで企画運営されるんですか？」と伺うと、「いえいえ、ボランティアさんがたくさんきてくださるんです」と山口さん。その秘訣は「学区各種団体のネットワークを活用すること」だそう。活躍の場をさりげなく提供しながら多くの方を巻き込んでいけます。そして皇子山中学校や大津商業高校の放送部からも応援があるそうです。従来の公共施設や新しい施設、大人から子どもたちをつなぐことで「自然に馴染める」まちがつけられるんですね。

あったかい情報誌「四季のたより」

他にも健康推進協議会と共催で、高齢者の方々が西教寺を拝観して「菊御膳」を楽しんでいただく豪華なイベントや、入学前の一年生が通学路を歩く、英語でクリスマスを楽しむイベントなど、おもてなしの心に満ち溢れたプログラムが盛りだくさんです。毎月発行されている「四季のたより」には、旬のレシピも掲載されています。「大根の麻婆豆腐」など、意外な組み合わせも。



滋賀学区でしか出土しない織瓦。滋賀のコミセンでご覧いただけます

史跡を活かした取り組みを

「参加された方から『楽しかった』と声があると嬉しい」滋賀学区には縄文時代から近代まで歴史が埋め込まれている。やっぱり遺跡の多い滋賀ならではのことをやりたい」と西田さんと山口さん。滋賀の史跡のちびっこ学芸員が誕生する日も遠くないかもしれません。



イベントで配ったオリジナルのお菓子と一緒にパチリ！

滋賀まちづくり協議会
〒520-0011
滋賀県大津市南志賀
1丁目8-32
TEL: 077-526-8585



まちの情報一本化！

富士見学区は1974年に新興住宅地として誕生した、大津市内では比較的新しい学区です。「富士見」という名前だけあって「近江富士」が綺麗に見えるのが由来です。

富士見まちづくり協議会は、情報発信に力を入れておられます。隔月で発行する「まち協だより」は、自治連をはじめ、防災会、体振、人推協、社協などの各種団体の情報が、このお便りの中に凝縮されていること。それぞれの団体からの記事を、まち協が編集、独自の取材も交えながら、住民が見やすいように編集されています。これまでは、チラシがバラバラに配布されて住民から回覧物の頻度が高すぎると苦情もあったけれども、情報が一本化して見やすい、また団体もデータを渡すだけで手間や経費を削減できたと喜んでおられるそう。SNSではハロウィンイベントのカボチャの重さあてクイズの正解の動画に、役員さんたちがコスプレで出演されるなど役者も勢揃い。



富士見学区の情報がギュッとつまって大好評のまち協だよりやSNS。



まちづくりはアマテラスオオミカミに出てきてもらって



富士見学区民のためにあらゆるイベントを盛り上げる協議会の皆さん

取材の日はちょうど「子育て支援事業『あのね なあに』」のクリスマス会が開催され、岡角会長や鶏飼副会長自らサンタさんに扮するなどサービス満点。お母さんたちも「赤ちゃんの体重を測ってください」など気軽に保健師さんに相談されて、地域に根付いている雰囲気でした。

そうした「地域の住民が、たとえ自治会に入っていないでも参加したくなる、ハードルの低い場づくり」で、イベントの参加者が

1.5倍から2倍になり、用意した材料が足りなくなることも多いとか。「アマテラスオオミカミのように岩陰に隠れている人に出てきてもらうために楽しいイベントをして、ちょっとでも覗いてもらう」と岡角会長は微笑まれます。

こんなに楽しいと思わなかった

今年から、お母さんは午前の子供を送り出してからお迎えに行くまで、などそれぞれのライフスタイルに合わせてパートを含めてスタッフが8名に増えました。「それぞれ個性や特技があって、どんどんアイデアが湧いてくる。こんなに楽しく取り組めるなんてびっくりです」と女性のスタッフの目が輝きます。来年度は学区設立50周年。より多くの住民が「出てくる」仕掛けを作っていけるそうです。

学区設立50周年の富士見学区をこれからもっと楽しくしていきます！



富士見学区自治連合会
〒520-0842
滋賀県大津市園山
2丁目15番33号
077-534-8122

